

# アイリスLetter



2016年6月30日発行

第3号

広島女学院中学高等学校

## 保護者の皆様へ

6月25日(土)にSGH研究発表会が行われました。SGHの認定を受けて3年目となりますが、本校では研究発表会を夏季・冬季の年2回実施してきました。今年度第1回となる今回は、午前中、井出明先生をお迎えしての講演を中高生徒がそれぞれ全員で聞き、午後は生徒達による、PS(ピーススタディーズ)各分野の取り組みについてプレゼンテーション等を行いました。

井出明先生(追手門大学准教授・観光学者)は、ダークツーリズムと呼ばれる観光スタイルを提唱しておられます。観光というものには色々なスタイルが考えられますが、これは、観光スポットとして戦争、災害、公害など人類の負の遺産を世界的な規模で取り上げ、一つの場所から他の場所へと、自由な発想の中でそれらに関連付けながら広げて行く時に、世界中に個々に存在していると見える多くの事象が、様々な意味で繋がり、関係づけられた大きな全体像が見えてくるというものです。また、世界の情報がインターネットを通して一瞬の内に手に入る現代こそ、肌身で感じなければ理解できないものがあるということをしっかり意識し、現地に足を運ぶ旅の持つ大切な意味と重要性を語られました。先生が生徒に配られたレジュメのプリントの中に、「悲しみが、人格を育てる」という言葉がさりげなく書かれていました。一般には負と見られ、人々が避けて通るところから物事を見、理解しようとするところに、実は物事の本質が隠され、人は本当の意味で成長することが出来るということでしょうか。このお話を聞きながら、聖書の一節が思い浮かびました。「死ぬ日は生まれる日にまさる。弔いの家に行くのは、酒宴(婚宴)の家に行くのにまさる。悩みは笑いにまさる。」。ダークツーリズムという慣れない言葉に、初めは暗・悪といったイメージを持ちそうになりましたが、井出先生の言われるのは、物事の本質を見るための旅、また生き方そのものを指し示しておられたのだと思いました。本校のSGHの基本テーマは「平和の創成」ですが、そこで対峙しなければならないのは、戦争や災害などの負の事柄です。それらと向き合い、周囲の物事や世界、そして人間の本質を見る目を養っていくことこそが、広島女学院のグローバル教育が進んでいる方向ではないかと改めて感じさせられました。

午後の生徒達のプレゼンテーション(海外・国内研修、GIクラス、署名活動等)は大変内容のあるもので、全国から来られたゲストの方々からも高い評価を頂きました。私自身も、生徒達が様々な体験を通して、大きく揺すぶられる経験をしている姿に感動し、そこに確かな成長を感じて嬉しく思いました。

### 聖書の言葉

「死ぬ日は生まれる日にまさる。弔いの家に行くのは酒宴の家に行くのにまさる。

そこには人皆の終わりがある。命ある者よ心せよ。悩みは笑いにまさる。」

コヘレトの言葉7章1～3節

(校長)

## 平和を祈る週（6/13～6/18）

土曜日の平和を祈る週特別礼拝には、原爆の子の像のモデル、佐々木禎子さんのお兄さんである、佐々木雅弘さんをお迎えしました。

雅弘さんは4歳の時、爆心地から約1.7kmの自宅で、当時2歳の禎子さんと共に被爆。元気に成長した禎子さんは、10年後の1955年2月、白血病と診断されました。

家が貧しく痛み止めの注射を我慢し、白血球の数値をメモしながらも死の不安を押し隠して、最後まで穏やかに振る舞い続けた禎子さん。折り鶴には、たった12歳で家族を気遣い、痛みや苦しみに一人で耐え続けた禎子さんの「思いやりの心」が込められています。禎子が生きることのできなかつた命を、皆さんはもっと大切に、周りの人を思いやり、平和をつくる人になって下さいと語られました。

午後の質問会では、アメリカのパール・ハーバーやスミソニアン博物館にも「サダコの鶴」を展示してもらっている、その鶴を見て原爆が正しいと思っている人も何かを感じるはず、悲しみは忘れてはいけませんが、怒りや憎しみを乗り越えるツールとして、「サダコの鶴」を贈り続けているということをお話して下さいました。

週間中、中学では、礼拝委員会主催の集いで被爆後3年目の長崎を舞台にした『母と暮らせば』を上映、8・6平和記念式で広島女学院原爆慰霊碑と絵碑に捧げる千羽鶴を作成しました。高校では、宗教委員会主催の昼の集いで金信先生の朗読、カンボジア・ハワイ・ミャンマー・韓国の研修報告、また署名実行委員会による核廃絶署名が行われました。

(宗教教育委員会)



写真：平和を祈る週特別礼拝



## 地区会役員会

6月23日(木)13時30分から中学チャペルで地区会役員会を行いました。今年度の地区会活動の報告や計画をお聞きし、学校側からは地区会運営の手引きをお配りし、学校施設の使用の説明などを行いました。また、PTAバザー担当副会長より、バザーに出す食品や物品の依頼と説明をしていただきました。今年も車での搬入をしていただきますが、その際の注意もありました。様々な活動がございますので、どうぞよろしくお願いいたします。また、昨年度も書かせていただきましたが、PTA皆様の地区会への参加もどうぞよろしくお願いいたします。地区会を主催される方々は、楽しい催しなどを計画されています。学年を越えた色々な情報を得られる貴重な時であると思いますし、広い範囲から通学されておりますので、その情報網は防犯などにも役に立つものです。PTAの皆様の暖かいご支援に心より感謝申し上げます。

(高校教頭)

## 教育実習について

6月1日から3週間(または2週間)、卒業生12名が本校で実習を行いました。出身校ということに加えて、生徒達と年齢が近いこともあってかすぐに打ち解け、授業やHRに参加していました。先輩という立場ではなく教師として生徒に接すること、教えることの難しさやその準備の大変さを痛感したようで、授業参観で真剣に教師を観察する姿や、授業の準備に取り組んでいる様子が見られました。彼女たちの今後の活躍を期待します。

(教育実習係)

## 早稲田大学の模擬講義について

6月9日(木)、早稲田大学の先生をお招きしての模擬講義がおこなわれました。文化構想学部の菊地浩平先生が来校され、「われわれはぬいぐるみを捨てるべきか」というテーマでの講義をおこなって下さいました。早稲田でも人気の先生だそうで、身近な小説や映画からあれだけの哲学と考察が得られるのかと大変興味深い内容でした。

高校時代までは、「教科」という枠があります。それは同時に「学び」の枠が存在することでもあります。その枠から飛び出して「学び」を構築する、それこそが大学での学びかもしれません。生徒達も、自分たちが想像するより遥かに多様な「学び」が世の中には存在することを実感できたことだろうと思います。

後半は、早稲田大学の担当者の方から、大学の説明がなされました。様々な視点からの説明に「憧れ」を抱いた生徒も多かったようです。

本校には、多様な「学び」の機会が多く準備されています。文化的な講演、碑巡りや署名活動などの生徒主体の活動、卒業生を囲む会等等など。興味のある分野だけでな

く、今まで触れたことのない世界にこそ目を向けることが、進路を考える上で大きな助けになるかもしれません。

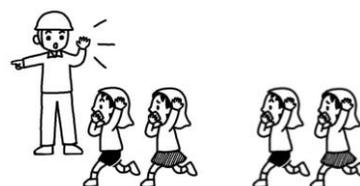


(進路指導部)

## 避難訓練

6月3日(金)、4時間目の終わりから昼休憩にかけて避難訓練を行いました。熊本の地震以降、どこが揺れてもおかしくないという認識はいつそう広まっています。今回は地震速報が入ったという緊急放送のあとしばらく揺れが続き、そのあと建物を出て避難を要する、という設定で行いました。昨年は火災を想定して行いましたが、地震の避難は急ぐ必要がなく、教室内での安全を確保する行動や、集合後の人員確認の訓練となりました。主として災害のときに教職員がどのような行動をとるかの訓練であるため、日時を細かく予告せずに行うようにしていますが、だんだんとスムーズに行われるようになってきているのを感じます。来年度以降はもっと早い時期に行うことを検討中です。

(生徒指導部)



## 保健室だより (3)

～整形外科問診票と1学期のこころの健康相談  
(7月21日(木))のご案内～

保護者の皆様方の御協力のもとに、今年度より開始されました整形外科の問診票から、肩の高さの左右差がある人が結構いることが判明しました。

校医の先生方から、荷物を一方の肩に持ち続けられないように(負担を避けるため)というアドバイスをいただいています。荷物の重さに加え、片方の肩に負担がかかるのは良くないので、なるべく荷物の量も工夫して加減するようにしましょう。校内にも、中学校舎下駄箱前のミラーとアイリスセンターの保健室前のミラーで生徒自身が自らの肩の高さのセルフチェックができるようにしました。本校の精神である「Chest Up」、心も体もその精神を受け継いでいきたいものです。

最近、遅くまで起きていて、気分の不調や体調の不調を訴える人が増えてきました。疲れたら、早めに休むという何気ない習慣を守るようにして、元気に学校生活を過ごしていきたいものです。7月21日(木)15時半～17時半に、「こころの健康相談」が実施されます。上幟町にある「さくらクリニック」の杉山信作医師にお越しいただき、1人あたり、30分程度相談することができます。(保護者でも本人でも可能。4人まで。)希望される方は、保健室までご連絡ください。

(保健室)

## 心の健康 (3)

7月の学校生活は2つに分かれます。前半は期末テストですから、みんな勉強に励むことになります。後半は夏休みで、各自の計画で日々を過ごすことになります。状況はいろいろと変化しますから、子ども達

への心配りが要ります。

テストでは自分の力が試されるので、強いストレスを受けます。ただ、テストによるストレスに対しては勉強しておけばいいわけで簡単なことです。が、勉強はそう楽々と出来るものではありません。このような時の親の一言は、子どもにとってストレスになったり励ましになったりしやすいのです。

人は話を聞いてもらおうと気持ちが晴れやかになります。日頃から子どもの話すことに本気で耳を傾け、親と子が互いに向かい合って話し、聞くという習慣を持ちたいものです。

(カウンセラー)



## 生徒の活躍

《中学》

◇中学ソフトテニス部

\*平成28年度広島市中学校ソフトテニス選手権大会

**団体** ベスト8

⇒広島県中学校選手権大会出場権獲得

\*平成28年度広島市スポーツ少年団ソフトテニス交歓大会

**団体**: 1部 3位

◇中学放送部

\*第36回広島県中学校放送コンテスト  
(第33回NHK杯県予選)

**朗読部門** N・H (3-2) 2位

**アナウンス部門** N・S (3-3)

K・H (3-4) 入選

**ラジオ番組部門** 1位

**総合** 1位

《高校》

◇高校卓球部

\* 第 69 回広島県高校総合体育大会  
(卓球の部)  
団体：A級 5位 (県ベスト8)

◇高校新体操部

\* 第 57 回中国高等学校体操競技・新体操  
選手権大会  
団体 5位

◇高校水泳部

\* 広島県高等学校選手権水泳競技大会  
広島地区予選 (インターハイ地区予選)

個人 T・M (1-A)  
400m個人メドレー 2位  
200m個人メドレー 2位  
Y・C (2-A)  
100m背泳ぎ 7位

\* 広島県高等学校総合体育大会

個人 T・M (1-A)  
400m個人メドレー 3位  
200m個人メドレー 4位

◇高校ソフトボール部

\* 第 69 回広島県高等学校総合体育大会

1回戦 女学院 10×-9 府中  
2回戦 女学院 12-4 安古市  
準々決勝 女学院 0-12 修大付属鈴ヶ峰  
⇒ ベスト8

◇高校放送部

\* 第 63 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト  
地区予選

朗読部門 M・H (3-C)  
U・K (3-C)

アナウンス部門 A・C (2-B)  
O・H (3-E)

⇒以上4名が県大会出場

\*NHK 杯全国高校放送コンテスト県大会

朗読部門 U・K (3-C)

審査員奨励賞

教職員の動向

6月1日付で職員の間動がありました。

《事務長》

異動 川口 早香美 在職 4年2ヶ月  
新任 石田 直子



今月の聖句

実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、規則と戒律づくめの律法を廃棄されました。

(エフェソの信徒への手紙 2章 14~15 節)

平和を祈る週の講師、佐々木雅弘さんが有志の質問会で語られた「相手との間に壁を立てない」というお話を聞き、この聖句を思い浮かべました。「自分の正しさだけを主張すると相手を傷つける。相手の言葉の表面だけに囚われてはいけない。その裏にあるものは何かを考えることが思いやり。

“Yes or No”をすぐに答えない。答えてしまうと、そうでない相手との間に壁ができる。まず相手の思いを聴く。間を置く。そうすると相手との間に壁を立てない答え方を見つける時間がとれる。」

日常生活でも、国際関係でも、私たちは自分の側の正しさを主張しがちですが、律法の正しさよりも、和解と赦しの大切さを教えたイエス様や、原爆を落とした側とも交流を続けている佐々木さんの生き方こそが、「平和の実現」への礎といえるのではないのでしょうか。

(6月30日 高校放送礼拝より)

(聖書科 T・M)

7月行事予定表

1	金	
2	土	中1父親母親教室
3	日	
4	月	
5	火	期末テスト(中3,高1・2・3) 木曜授業 1限8:55～
6	水	(中1・2) 1限8:55～15分休憩
7	木	1限8:55～15分休憩
8	金	1限8:55～15分休憩
9	土	高1・2進研模試 高3進研記述模試
10	日	
11	月	自宅学習日
12	火	テスト返却 30分授業 1限8:55～
13	水	30分授業 1限8:55～
14	木	40分授業 1限8:55～
15	金	月曜授業 1限8:55～ 期末テスト素点確認
16	土	1限8:55～ 中2・3父親母親教室 4限大掃除
17	日	
18	月	海の日 おさんぽ女学院
19	火	1限8:55～
20	水	1限8:55～
21	木	金曜授業 1限8:40～ Ⓞ中 7限 終業礼拝 8限LHR Ⓞ高 7限LHR 8限 終業礼拝
22	金	高3補習
23	土	
24	日	代ゼミ大学別模試(高3希望者)
25	月	中2チャレンジキャンプ 勉強合宿,English Adventure 夏期海外生活体験学習
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

